平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名　太陽誘電株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6976　URL　http://www.ty-top.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）神崎 芳郎
問合せ先責任者　（役職名）財務経理部次長　（氏名）横田 年昭　TEL 03-3832-0101
四半期報告書提出予定日　平成20年11月14日　配当支払開始予定日　平成20年12月3日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	109,462	—	4,133	—	5,258	—	1,649	—
20年3月期第2四半期	118,564	9.2	11,706	36.4	11,509	35.2	5,530	28.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	13.95	12.94
20年3月期第2四半期	46.40	42.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	277,159	163,719	58.9	1,387.48
20年3月期	271,605	167,766	61.6	1,403.24

（参考）自己資本　21年3月期第2四半期 163,162百万円　20年3月期 167,260百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	———	———	———
21年3月期（予想）	———	———	—	5.00	10.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,462	△8.7	0	—	1,000	△94.8	△1,000	—	△8.50

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無
新規　— 社（社名　　）　除外　— 社（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　有
（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第2四半期 120,481,395株　20年3月期 120,478,119株
② 期末自己株式数　21年3月期第2四半期 2,884,659株　20年3月期 1,281,821株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第2四半期 118,265,506株　20年3月期第2四半期 119,189,318株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
(2)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)個別業績の概要

（百万円未満切捨て）

1．平成21年3月期第2四半期の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)　　(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	97,944	－	220	－	1,014	－	△ 4,852	－
20年3月期第2四半期	101,705	16.1	9,213	208.5	10,130	75.6	6,407	105.2

	１株当たり四半期純利益
	円 銭
21年3月期第2四半期	△ 41.03
20年3月期第2四半期	53.76

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	221,806	113,542	51.1	962.94
20年３月期	211,590	120,789	57.0	1,011.19

(参考)自己資本　21年3月期第2四半期　113,238 百万円　　20年3月期　120,530 百万円

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く市場環境は、前年同期に比較して薄型ＴＶが牽引した民生機器は底堅く推移したものの、パソコン、部品などの生産調整が大きく影響したことにより、前年同期比で受注が減少しました。

このような状況下、当社グループは、４つの事業部門において以下のような取り組みを行いました。

コンデンサは、主力の積層商品群において生産性改善を主体とした原価低減の推進、ハイエンド商品の能力拡大と、市場開拓強化による売上の拡大などの体質強化に取り組んできました。フェライト及び応用製品は、需要が拡大しているデジタル機器の電源回路向けに巻線インダクタの販売拡大と安定供給に努めてきました。モジュールは、Bluetooth®モジュールや無線ＬＡＮモジュールなどの商品力強化を加速、推進してきました。記録製品は、引き続き生産性改善、品質の強化などに取り組み、信頼性の高い商品の安定供給と更なるコスト低減に努めてきました。

当第２四半期連結累計期間の連結売上高は1,094億62百万円（前年同期比7.7％減）、営業利益は41億33百万円（前年同期比64.7％減）、経常利益は52億58百万円（前年同期比54.3％減）、四半期純利益は16億49百万円（前年同期比70.2％減）となりました。

当第２四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは１米ドル105.14円と前年同期の平均為替レートである１米ドル119.71円と比べ14.57円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサをはじめ、各種セラミックコンデンサが含まれます。

当連結会計期間は、デジタル機器が底堅く推移した民生機器向けの売上が前年同期比で増加したものの、部品、パソコン、携帯電話などの生産調整が大きかったことが影響し、売上高は505億70百万円（前年同期比11.0％減）となりました。

[フェライト及び応用製品]

フェライトコア、その応用製品である各種インダクタが含まれます。

当第２四半期連結累計期間は、全ての機器向けの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は172億56百万円（前年同期比4.3％減）となりました。

[モジュール]

各種電源モジュール、高周波モジュールが含まれます。

Bluetooth®モジュールや無線ＬＡＮモジュールなどの売上が前年同期に比較して減少したものの、液晶ＴＶ向けバックライト用インバータモジュールが順調に推移したことにより、売上高は190億86百万円（前年同期比8.5％増）となりました。

[記録製品]

ＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ／ＤＶＤ＋Ｒが含まれます。

当第２四半期連結累計期間は、ＤＶＤ－Ｒ／ＤＶＤ＋Ｒの生産性改善と高品質商品の安定供給に努めてきたものの、売上高は139億71百万円（前年同期比11.3％減）となりました。

[その他電子部品]

製品別区分に属さない製品と関係会社の事業が含まれます。

関係会社における実装事業が売上高の主なものであり、売上高は85億78百万円（前年同期比17.5％減）となりました。

なお、前年同期増減率は参考として記載しております。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）財政状態の変動状況

当第２四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して55億54百万円増加しました。流動資産は29億50百万円増加しており、主な要因は、受取手形及び売掛金の増加35億68百万円であります。固定資産は26億４百万円増加しており、主な要因は、投資その他の資産の増加21億５百万円であります。

負債は、96億１百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加140億60百万円、長期借入金の増加39億61百万円、転換社債の償還による減少67億３百万円であります。

純資産は、40億47百万円減少しました。

（２）キャッシュ･フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは52億76百万円（前年同期比59.2％減）の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益35億17百万円、減価償却費134億48百万円、売上債権の増加44億26百万円、たな卸資産の増加39億75百万円、固定資産除売却益37億69百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは162億86百万円（前年同期比20.2％減）の支出となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出176億49百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは86億42百万円（前年同期比36.6％減）の収入となりました。主な要因は、長期借入れによる収入100億円、短期借入金の増加80億円、転換社債の償還による支出67億３百万円であります。

以上の結果、当第２四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して24億43百万円減少し、329億57百万円となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成20年５月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成20年11月６日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号　平成18年７月５日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第２四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益が19億８百万円、税金等調整前四半期純利益が34億48百万円減少しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用
　第１四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号　平成18年５月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。
　なお、この変更により当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

④ リース取引に関する会計基準の適用
　所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成５年６月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年３月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成６年１月18日（日本公認会計士協会　会計制度委員会）、平成19年３月30日改正））が平成20年４月１日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第１四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
　なお、この変更により当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

⑤ 副産物販売益
　従来、副産物の販売収入については営業外収益の副産物販売益として表示しておりましたが、その取引の性質を見直した結果、営業成績をより適切に表示するため、第１四半期連結会計期間より売上高に含めて表示する方法に変更しました。
　これにより、従来の方法と比べ、当第２四半期連結累計期間の売上高は２億10百万円増加し、売上総利益及び営業利益は同額増加しております。

⑥ 有形固定資産の耐用年数の変更
　当社及び国内連結子会社は法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、有形固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しております。
　これにより、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ３億97百万円減少しております。

５．四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成20年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,765	38,304
受取手形及び売掛金	56,196	52,628
商品及び製品	15,748	13,891
仕掛品	13,663	13,161
原材料及び貯蔵品	14,302	13,405
その他	7,612	9,952
貸倒引当金	△ 222	△ 227
流動資産合計	144,066	141,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,051	64,120
機械装置及び運搬具	184,989	174,519
工具、器具及び備品	17,225	16,928
土地	7,858	7,960
建設仮勘定	8,802	14,202
減価償却累計額	△ 165,148	△ 159,579
有形固定資産合計	118,779	118,152
無形固定資産		
のれん	853	974
その他	707	714
無形固定資産合計	1,560	1,688
投資その他の資産		
投資有価証券	4,530	5,166
その他	8,543	5,492
貸倒引当金	△ 320	△ 11
投資その他の資産合計	12,753	10,647
固定資産合計	133,092	130,488
資産合計	277,159	271,605

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成20年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,419	23,811
短期借入金	27,100	13,039
１年内償還予定の転換社債	―	6,707
未払法人税等	1,946	3,406
賞与引当金	2,891	2,938
役員賞与引当金	12	82
その他	17,646	16,029
流動負債合計	71,016	66,014
固定負債		
転換社債型 新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	10,522	6,561
退職給付引当金	1,647	1,888
役員退職慰労引当金	159	178
その他	10,093	9,195
固定負債合計	42,423	37,824
負債合計	113,440	103,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,557	23,555
資本剰余金	41,450	41,448
利益剰余金	114,484	113,469
自己株式	△ 3,628	△ 1,600
株主資本合計	175,863	176,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 131	107
繰延ヘッジ損益	84	13
為替換算調整勘定	△ 12,653	△ 9,733
評価・換算差額等合計	△ 12,700	△ 9,612
新株予約権	303	259
少数株主持分	252	246
純資産合計	163,719	167,766
負債純資産合計	277,159	271,605

(2)四半期連結損益計算書

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）
売上高	109,462
売上原価	87,269
売上総利益	22,193
販売費及び一般管理費	18,059
営業利益	4,133
営業外収益	
受取利息	363
受取配当金	103
持分法による投資利益	51
為替差益	732
その他	308
営業外収益合計	1,559
営業外費用	
支払利息	270
その他	164
営業外費用合計	434
経常利益	5,258
特別利益	
固定資産売却益	4,054
補助金収入	1,057
その他	2
特別利益合計	5,114
特別損失	
固定資産除売却損	285
たな卸資産評価損	1,539
投資有価証券評価損	1,123
和解金	3,489
その他	418
特別損失合計	6,856
税金等調整前四半期純利益	3,517
法人税、住民税及び事業税	1,525
法人税等調整額	334
法人税等合計	1,860
少数株主利益	6
四半期純利益	1,649

（第２四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間 （自　平成20年７月１日 至　平成20年９月30日）
売上高	58,180
売上原価	46,791
売上総利益	11,389
販売費及び一般管理費	9,131
営業利益	2,257
営業外収益	
受取利息	163
受取配当金	60
持分法による投資利益	50
為替差益	283
その他	115
営業外収益合計	673
営業外費用	
支払利息	152
その他	87
営業外費用合計	239
経常利益	2,691
特別利益	
固定資産売却益	4,050
特別利益合計	4,050
特別損失	
固定資産除売却損	185
投資有価証券評価損	1,123
和解金	3,489
その他	395
特別損失合計	5,194
税金等調整前四半期純利益	1,547
法人税、住民税及び事業税	900
法人税等調整額	△ 98
法人税等合計	802
少数株主利益	△ 1
四半期純利益	745

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,517
減価償却費	13,448
のれん償却額	121
貸倒引当金の増減額(△は減少)	320
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 35
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 70
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 5
受取利息及び受取配当金	△ 466
支払利息	270
持分法による投資損益(△は益)	△ 51
固定資産除売却損益(△は益)	△ 3,769
投資有価証券評価損益(△は益)	1,123
和解金	3,489
売上債権の増減額(△は増加)	△ 4,426
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 3,975
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,644
その他	△ 140
小計	7,704
利息及び配当金の受取額	529
利息の支払額	△ 269
法人税等の支払額	△ 2,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(△は増加)	△ 1,484
固定資産の取得による支出	△ 17,649
固定資産の売却による収入	3,509
投資有価証券の取得による支出	△ 684
その他	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,000
長期借入れによる収入	10,000
長期借入金の返済による支出	△ 40
転換社債の償還による支出	△ 6,703
自己株式の取得による支出	△ 2,028
配当金の支払額	△ 595
その他	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,443
現金及び現金同等物の期首残高	35,401
現金及び現金同等物の四半期残高	32,957

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(1)中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間 （自　平成19年４月１日 至　平成19年９月30日） 金額
Ⅰ 売上高	118,564
Ⅱ 売上原価	88,262
売上総利益	30,301
Ⅲ 販売費及び一般管理費	18,595
営業利益	11,706
Ⅳ 営業外収益	1,137
受取利息	659
受取配当金	46
持分法による投資利益	68
副産物販売益	200
その他	163
Ⅴ 営業外費用	1,334
支払利息	217
為替差損	841
支払補償金	86
その他	188
経常利益	11,509
Ⅵ 特別利益	192
固定資産売却益	178
その他	14
Ⅶ 特別損失	1,600
固定資産除売却損	148
投資有価証券評価損	26
事業再編損	1,279
その他	146
税金等調整前中間純利益	10,101
法人税、住民税及び事業税	4,294
法人税等調整額	274
法人税等合計	4,569
少数株主利益	1
中間純利益	5,530

（２）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前中間連結会計期間 （自　平成19年４月１日 至　平成19年９月30日） 金　額
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前中間純利益	10,101
2. 減価償却費	10,713
3. のれん償却額	126
4. 貸倒引当金の増減額(△は減少)	49
5. 賞与引当金の増減額(△は減少)	78
6. 役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 1
7. 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1
8. 受取利息及び受取配当金	△ 705
9. 支払利息	217
10. 持分法による投資損益(△は益)	△ 68
11. 固定資産除売却損益(△は益)	△ 29
12. 投資有価証券評価損	26
13. 売上債権の増減額(△は増加)	△ 3,642
14. たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 3,061
15. 仕入債務の増減額(△は減少)	△ 736
16. その他	3,703
小計	16,771
17. 利息及び配当金の受取額	1,416
18. 利息の支払額	△ 250
19. 法人税等の支払額	△ 4,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,949
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 固定資産の取得による支出	△ 21,030
2. 固定資産の売却による収入	571
3. 投資有価証券の取得による支出	△ 400
4. 定期預金の増減額(△は増加)	295
5. 新規連結子会社の株式取得に伴う支出	△ 269
6. その他	431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,401
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 4,226
2. 長期借入金の返済による支出	△ 1,389
3. 転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	19,934
4. 自己株式の取得による支出	△ 92
5. 配当金の支払額	△ 595
6. その他	△ 6
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,624
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 24
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,147
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	39,435
Ⅶ 現金及び現金同等物の中間期末残高	45,583

６．その他の情報

製品別売上高

（単位：百万円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）		前中間連結会計期間 （自 平成19年４月１日 至 平成19年９月30日）	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
コンデンサ	50,570	46.2	56,794	47.9
フェライト及び応用製品	17,256	15.8	18,039	15.2
モジュール	19,086	17.4	17,585	14.8
記録製品	13,971	12.8	15,748	13.3
その他電子部品	8,578	7.8	10,396	8.8
合計	109,462	100.0	118,564	100.0

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間 （自 平成20年７月１日 至 平成20年９月30日）	
	金額	構成比
		%
コンデンサ	27,215	46.8
フェライト及び応用製品	9,124	15.7
モジュール	10,509	18.1
記録製品	7,308	12.5
その他電子部品	4,022	6.9
合計	58,180	100.0

平成20年11月6日

上場会社名　:太陽誘電株式会社
コード番号　:6976（東証 第一部）
代表者　:代表取締役社長　神崎　芳郎
問合せ窓口　:経営本部　財務経理部
TEL（03－3832－0101）

平成21年3月期　第2四半期決算概要

[業績の概要]

期別 / 科目	当第2四半期累計 (20.4.1～20.9.30)		前第2四半期累計 (19.4.1～19.9.30)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高	109,462	100.0	118,564	100.0	△9,101	△7.7
営業利益	4,133	3.8	11,706	9.9	△7,573	△64.7
経常利益	5,258	4.8	11,509	9.7	△6,250	△54.3
税引前当期純利益	3,517	3.2	10,101	8.5	△6,584	△65.2
当期純利益	1,649	1.5	5,530	4.7	△3,880	△70.2

1株当たり当期純利益	13.95　円	46.40　円	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	12.94　円	42.67　円	

研究開発費	4,395　百万円	4,283　百万円	111 百万円	2.6 %
設備投資額	17,649　百万円	21,030　百万円	△3,380 百万円	△16.1 %
減価償却費	13,448　百万円	10,713　百万円	2,735 百万円	25.5 %

(注)百分比は売上高比であります。

	当第2四半期末 (20.9.30)	前連結会計年度末 (20.3.31)	増減	
			金額(百万円)	増減率(%)
総資産	277,159　百万円	271,605　百万円	5,554	2.0
純資産	163,719　百万円	167,766　百万円	△4,047	△2.4
自己資本比率	58.9　%	61.6　%	△2.7ポイント	ー
1株当たり純資産	1,387.48　円	1,403.24　円	△15.76　円	△1.1

[製品別売上高]

期別 / 製品区分	当第2四半期累計 (20.4.1～20.9.30)		前第2四半期累計 (19.4.1～19.9.30)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	50,570	46.2	56,794	47.9	△6,224	△11.0
フェライト及び応用製品	17,256	15.8	18,039	15.2	△782	△4.3
モジュール	19,086	17.4	17,585	14.8	1,501	8.5
記録製品	13,971	12.8	15,748	13.3	△1,777	△11.3
その他電子部品	8,578	7.8	10,396	8.8	△1,818	△17.5
合計	109,462	100.0	118,564	100.0	△9,101	△7.7

TAIYO YUDEN